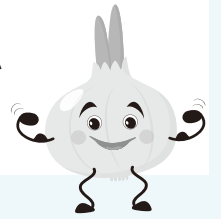


おのまち 地域おこし協力隊活動記

今年も にんにく収穫の季節が やってきました！



員さんと宇川クリーンファーム(猪苗代町)代表の宇川進先生、県の農業普及所の方、役場の産業振興課の皆さんなどが集まり、ほ場指導会が行われました。

今年はず月が暖かかった印象が強く、「今年は早く大きくなるだろうから、収穫も早いか？」などと思っていたのですが、各組合員さんに聞くと、にんにくの生育は例年とさほど変わらない感じとのこと。「なんでだろう?」と、積算温度(毎日の温度を合計したもの)を計算されている組合員さんから「4月、5月の積算温度は例年より低かったよ」とのことでした。(さすがです。)この情報を皆さんで共有し、収



ほ場指導会の様子

穫に向けてにんにくの仕上げをするべく真剣な話し合いがされていましたので、今年も良い黒にんにくができると期待していただきたく思います。

私は小野町に来てから野菜づくりを教えていただき、農家の真似事を少しやらせていただいています。その師匠方を見てみると、いろいろなことを考えて作業されていることに気付かされます。例えば、作物の状態に合ったタイミングで施肥管理をする。まるで作物と会話をしているかのようです。「野菜は正直だ」と教えていただき、実際に私も真似しようと思いました。どこがどのように正直なのか分からず、ちょっととしたパニックに陥りました。

野菜と会話すること、それは組合員さんが野菜の栽培に惜しみない手間をかけているからできることで、だからこそ、糖度が高く、玉の大きなにんにくとなり、おいしい



にんにくの芽おすそわけ会を開催しました

黒にんにくができるのだと思います。

そして、にんにくの玉を大きくするためのもう一手間として、茎から出るくると曲がった芽を摘み取る作業があるのですが、昨年「この芽を炒めて食べてみな。おいしいぞ」と教えていただいた

ので、言われたとおり食べてみると、まあおいしいこと！日頃からにんにくの栽培に手間をかけるからこそ、この芽のおいしさに現れるんだなあと感じます。

組合員さんもこのにんにくの芽を食べるようなのですが、量が量ですので最終的には捨ててしまうのです。あまりにもつたいないと感じたので、去る5月29日・6月5日につどっておのまちで、この



にんにくの芽を配らせていただきました。新型コロナウイルスの影響も考え、大々的には告知しませんでした。おかげさまで両日も予定数量を配布することができました。来ていただいた方々にあらためて感謝申し上げます。来年もできるかは分かりませんが、配布会をするときにはいらしていただけたらうれしいです。

最後に、今年の夏も暑くなりそうですので、屋内外にかかわらず暑い中での作業をされる方々は、体調を崩されませんようご自愛いただきたく思います。

こんにちは。地域おこし協力隊の阿井伸介です。

地域おこし協力隊としての私の業務は、黒にんにくの生産・PRです。早いもので、にんにくの収穫も私がお手伝いさせていただくようになってから2回目となります。この広報をお読みいただいている頃には、にんにくの収穫も終わり、黒にんにくに加工するための作業の真っ最中であろうかと思えます。

去る5月27日には、各組合